

自治体版ハンズオン支援事業の取組

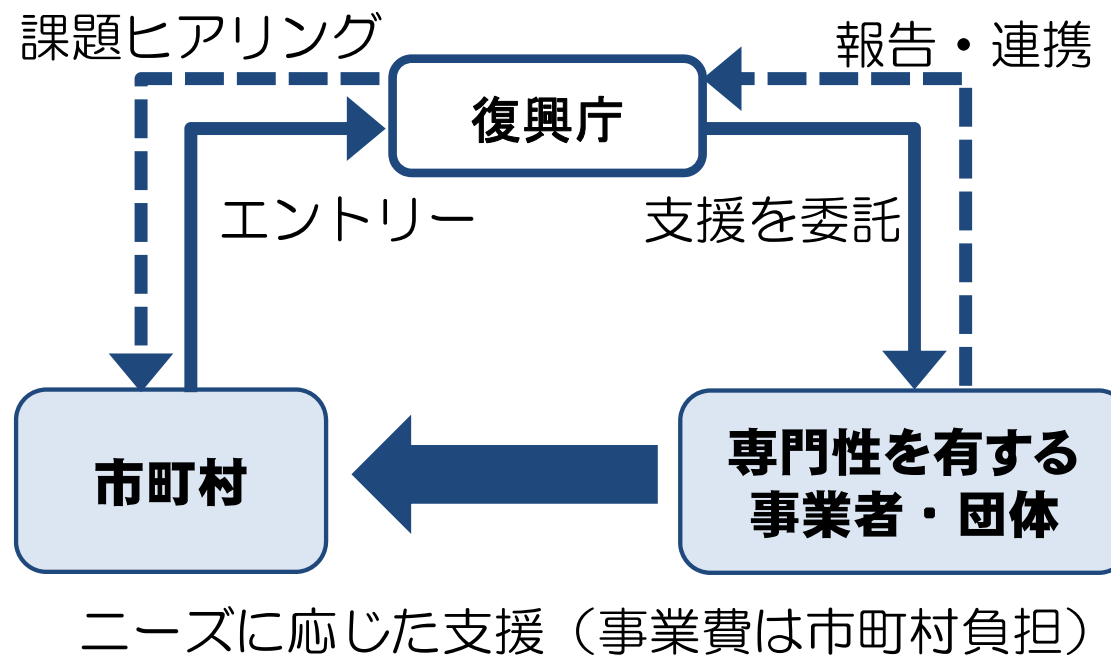
平成 27 年 10 月
復興庁総合政策班

自治体版ハンズオン支援事業の概要

自治体版ハンズオン支援事業の概要

- 地域の抱える課題の解決に向けて新たな取組を行う自治体を対象として、各自治体の取組状況やニーズに応じたきめ細かな支援を実施。
(平成27年度より実施)
- 支援対象自治体は、「地域づくりネットワーク」のメンバーを対象とした公募手続を経て決定。
- 支援団体は、対象自治体の取組に対する柔軟な支援体制（課題に応じた複数事業者によるコンソーシアムの形成や、外部有識者、ファシリテーターなどの積極的導入）を構築し、実施期間を通して継続的にサポート。

【自治体版ハンズオン支援の仕組み】



- ・ワークショップ等の開催
- ・連携先や先進事例の紹介 等

自治体版ハンズオン支援事業対象自治体(第一弾:平成27年5月～翌3月)

- 地域の抱える課題の解決に向けて新たな取組を行う自治体を対象として、各自治体の取組状況やニーズに応じたきめ細かな支援を実施。(平成27年度新規)
- 支援対象自治体は、「地域づくりネットワーク」のメンバーを対象とした公募手続を経て、岩手県久慈市、宮城県塩竈市、福島県郡山市、福島県川内村の4自治体に決定。
- 支援団体は、「日本経済研究所、アクセンチュア、全国コミュニティライフサポートセンター、RCF復興支援チーム」のコンソーシアムに決定。

支援対象自治体	支援対象事業の内容	支援内容(イメージ)
岩手県久慈市	<p>○久慈地下水族科学館を中心とした交流人口拡大事業</p> <p>「久慈地下水族科学館」の開場(平成27年度)に併せて、地域の商店や高校生等を中心としたボランティアと連携し、新商品を開発。魅力的な観光資源を創ることで交流人口の拡大を目指す。</p>	<p>新商品開発のアドバイス 商品開発会議の開催・運営 等</p>
宮城県塩竈市	<p>○浦戸諸島の農業・漁業を活かした離島活性化プロジェクト</p> <p>浦戸諸島の四島が連携。島の農業・漁業に関心のある方々を対象に、農業・漁業体験やグリーンツーリズムを実施。浦戸の魅力を発信することで交流人口拡大や営農・漁業の担い手育成等を目指す。</p>	<p>離島振興の先進事例や講師の紹介 ワークショップ開催支援 情報発信・販路開拓のアドバイス 等</p>
福島県郡山市	<p>○地域住民が主役！住民主体の通いの場創設プロジェクト</p> <p>地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域住民の主体的な支え合いの体制づくりを推進。各地域に住民主体の通いの場を創設。併せて、健康体操等の介護予防ツールを開発・普及。</p>	<p>先進事例の紹介 職員向け研修会や地域説明会の開催 介護予防ツール開発のアドバイス 等</p>
福島県川内村	<p>○コミュニティと産業を軸とした帰還者支援プロジェクト</p> <p>村営復興公営住宅の入居開始(平成27年上半期)に併せて、農業等の産業の再生(販路開拓や多角化等)、コミュニティ形成拠点の機能強化等の取組を実施。帰村率(現在約6割)の一層の向上を目指す。</p>	<p>役場・関係機関の一体化に向けた支援 農業等の販路開拓や多角化等に向けたアドバイス コミュニティ形成拠点において実施するイベントの設計 等</p>

自治体版ハズオン支援事業対象自治体(第二弾:平成27年10月~翌3月)

- 岩手県山田町、宮城県東松島市、福島県福島市、福島県いわき市、福島県飯舘村の5自治体を対象に実施。
- 10月中に具体的な取組計画を策定し、年度末まで継続的な支援を実施。

支援対象自治体	支援対象事業の内容(仮)
岩手県山田町	○観光交流施設を中心とした漁業・商業連携プロジェクト
宮城県東松島市	○官民連携による被災元地活用プロジェクト
福島県福島市	○地域資源を活かした交流人口と次世代定住人口の拡大プロジェクト
福島県いわき市	○文化創造都市いわきを目指した地域人材育成プロジェクト
福島県飯舘村	○住民一人ひとりに寄り添う「までいな村」農業再生プロジェクト

自治体版ハンズオン支援事業の事例(福島県川内村)

取組のスケジュール			
	①コミュニティの形成	②産業再生・産業復興	(参考:関係行事等)
5月	年間取組計画素案の作成		5/29-30 新しい東北MTG@神戸
6月	①役場内体制増強の支援 ②課題及び論点の詳細整理		(公営住宅入居開始)
7月		販路開拓ルート の検討	7/8-9 地域づくりNW交流会@仙台 7/11 天山祭り
8月	福島大学フィールドワーク 「むらの大学」との連携	小売関係者の助言 等による製品の ブラッシュアップ	8/13-15頃 盆行事 (盆野球、成人式、BONDANCE)
9月	既存組織へのヒアリング等 による連携方策の検討	販路の確立 (必要な場合) 生産体制の検討	8/下~9/上 福大「むらの大学」来訪 9/20頃 例大祭
10月	川内村外の関係者を含む コミュニティ立ち上げ		10月 特養老人ホームオープン 10/中 地域づくりNW交流会 10/30-11/1 そばフェスタ
11月	交流イベント実施(1回)		
12月	村内でのコミュニティ形成の 場づくり	振り返り フォローアップ 他品目への展開	12/下 複合商業施設オープン
1月			
2月	交流イベント実施(1回)		2/中 地域づくりNW交流会
3月	○評価 ○今後の課題整理		

増強支援
役場内体制

※外部人材等の着任後を対象
新体制の定着・運営支援